

2011 年度
エコアクション 21
環境活動レポート



小倉商事株式会社

報告期間：2010年9月1日～2011年8月31日

作成日：2011年10月1日

【基本理念】

小金商事株式会社は地球環境保全と、きれいな地球を次世代に残す事が責任と認識し、当社で取り扱う商品及び開発商品、また社内で使用する事務用品などの消耗資材も含め環境負荷の軽減に寄与できる製品への提案を推進し営業活動を行います。

【環境方針】

- (1) 環境目標・行動計画を策定し、自主管理基準を作成の上、遵守します。
- (2) 環境関連法令・条例・規制等を遵守すると共に明確な目標へ向け推進します。
- (3) 環境に配慮した製品の提案販売に努めます。
- (4) 環境負荷の軽減のため次の活動を推進します。
 - I. CO₂排出量の削減のため、電力・燃料の効率化に努めます。
 - II. 自社内で発生する古紙など廃棄物のリサイクル化を徹底し、廃棄物の削減に努めます。
 - III. 水資源の節約に努めます。
 - IV. エコノミー運転を心掛け、無駄なガソリン燃料の消費を抑えることに努めます。
- (5) 環境方針達成のため、全社員が目標に向けての活動に努めます。
- (6) 環境方針・目標は毎年1回見直しを行い、必要に応じ改善をします。

2006年11月1日制定

2009年5月1日改定

小金商事株式会社

代表取締役社長 石黒 学

事業所概要

(1) 事業所名及び代表社名

小金商事株式会社

代表取締役社長 石黒 学

(2) 所在地

東京都葛飾区南水元 4-22-7

(3) 環境管理責任者氏名

環境管理責任者 : 代表取締役社長 石黒 学

担当者 : 営業部 窪田 幸司

TEL : 03 (3600) 0251 FAX : 03(3600)0610

E-mail : kogane@oregano.ocn.ne.jp

(4) 事業内容 (認証・登録の範囲)

めっき用各種原材料 (非鉄金属・工業薬品・金属表面処理剤・研磨剤)
及びめっき装置・公害防止処理装置・関連付帯機器等の設計、販売

(5) 事業の規模

売上高 : 68820 万円/年

主要製品出荷量 : 500t/年

従業員数 : 9 名

事業所の延べ床面積 185 m²

環境目標及びその実績

当社の事業活動における環境負荷を「環境負荷の自己チェック」で把握し、次の5項目を環境目標として策定し、前年度との比較を行った。

詳細内容及び実績は下記の通りである。

環境目標	2010年度 (前年度) (上段) 年度実績 2009/9~2010/8	2011年度			2012年度	2013年度
		目標値 前年比	12ヶ月実績 2010/9~ 2011/8	目標 達成率	目標値	目標値
電気使用量の削減 (kwh)	9715	△0.2% 9700	9395	△3.1%	△0.5%	△0.7%
廃棄物排出量削減 (kg)	104	△3.8% 102	100	△2.0%	△0.5%	△0.8%
総排水量の削減 (㎡)	98	△2.0% 95	98	3.0%	△0.5%	△0.6%
ガソリンの削減 (ℓ)	6985	△0.3% 6985	6984	0.0%	△0.3%	△0.5%
二酸化炭素排出量削減 (kg)	21080	△2.5% 21000	20933	△0.7%	△0.5%	△0.6%

* 購入電力の排出係数については、東京電力のHPに記載されている、「0.384(kg-Co2/kWh)」を使用して、算出しています。

* 備考

当社の事業活動として、工事施工の際に排出する産業廃棄物（及び特別管理産業廃棄物）については、削減の対象にしていません。

（工事件数、内容によって大きく変動するため。）

しかし、可能な限りで洗浄を行い、再使用することで、削減の努力は社員一丸となって行います。

新環境目標及びその実績

当社の環境方針でも記載の通り、当社は環境に配慮した製品の研究、提案、販売を行っている。新環境目標として、その製品の中の一つ「白金電極」を提案目標として策定した。来期より、この環境目標を新しい目標として追加する予定。

*白金電極とは、メッキに使用される陽極である。鉛の電極を用いている場合、使用していくうちに劣化してしまう。劣化したものは処分する必要がある。それと比較し、白金電極は基体（母体）がチタンで構成されている為、基体に白金をリコーティングする事で、半永久的に使用する事が可能である。その為、基体を処分する必要がなくなり、産業廃棄物の削減につながる。（詳しくは、当社の HP を参照下さい。）

新環境目標	2011年度 (基準年度)		2012年度		2013年度	
	提案	実績	目標値 提案 前年比	目標値 実績 前年比	目標値 提案 前年比	目標値 実績 前年比
白金電極の提案 (件)						

環境活動計画と取組結果の評価

エコアクション 21 の取り組みで社員の環境意識が向上し、使用しない電気の消灯やエアコンの温度調整により、電気使用量の削減が図れた。また、3F にも LED の設置を行い、窓には耐熱・耐遮光フィルムを貼るなどの対策を行い、電気使用量を大幅に削減することが出来、目標を達成することができた。

来期は、全項目の目標達成を目指し、取り組む予定。

環境計画の内容	目標達成率	取り組み結果の評価
電気使用量の削減		目標達成
①使用しない部屋の電気の消灯	目標 △0.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・今期に入り、3F照明をLEDに付け替えた。 ・耐遮光性、耐熱フィルムの設置。 ・社員の環境意識向上により、目標を達成した。
②エアコンの暖房・冷房室温調整	実績 △3.4%	
③クール・ウォームビズ運動		
④LEDの設置 (3F)		
廃棄物排出量の削減		目標未達成
①両面コピーの推進	目標 △1.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な印刷を可能な限り行わないように、データによる送付の活動を今後推進する。
②無駄な紙類の不印刷	実績 +2.0%	
③廃棄物の分別の徹底化		
総排水量の削減		目標未達成
①節水シールによる呼びかけ	目標 △3.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・検針が2ヶ月毎で、実績値は平均の推定。 ・具体策を見直し、来期は達成するように努める。
	実績 ±0.0%	
ガソリンの削減		目標達成
①エコノミー運転の徹底	目標 ±0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・エコノミー運転を徹底し、社内、各車にエコノミー運転の実施案を置く事によって達成した。 ・今後も、継続して活動する。
	実績 △0.1%	
二酸化炭素排出量の削減		目標達成
①電気使用量の削減	目標 △0.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、ガソリンの使用量の削減については、上記の活動を取り組み、継続する。 ・今期は、消費電力の削減が、二酸化炭素の排出量を抑えた主な要因となった。 ・今後も、継続して活動する。
②ガソリンの削減	実績 △0.7%	
③石油ガスの削減		

環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に適用される、主な法規は以下の通りで、これらの環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用環境法令等	当社の対応状況	遵守状況
危険物の規制に関する政令 S.37.3.31 制定 (H.18.3.31 改正)	取扱・貯蔵の許可・届出済み 指定数量以下 (第一類 990kg以下)	届出済み 指定数量以下
東京都火災防止条例 S.37.3.31 制定 (H.18.3.31 改正)	・危険物に対しては、禁水倉庫にて、厳重に取り扱っている。 ・消火器の配置済み	危険物の 対応済み
葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する条例 H.11.12.22 制定 (H.21.4.1 改正)	・事業廃棄物は、有料ゴミ処理券を購入し、廃棄物に貼付して排出している。	条例に従い 行動している
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 S.45.12.25 制定 (H.23.8.30 改正)	・非定常的に廃棄される特殊廃棄物については、産業廃棄物処理業者へ委託。 ・委託契約書面の管理、マニフェストの発行、回収、照合、管理は法律に従い行動している。	法律に従い 行動している

* ここで記載している、非定常的に廃棄される特殊廃棄物とは、各種機器類（社内電気家具・事務机・事務用家具等）を示しています。

化学物質の管理と把握

当社が販売する化学物質の販売量と定例在庫を以下に記載する。
これに従い、化学物質の管理と把握を行っている。

化学物質の種類		単位	販売量(年)	定例在庫
化学物質 保管 量	無水クロム酸	kg	16000	500
	濃硫酸(98%)	kg	25000	100
	希硫酸(75%)	kg	50000	60
	塩酸(35%)	kg	7000	100
	液体クロム酸	kg	45000	200
	苛性ソーダ	kg	15000	300
	硫酸ニッケル	kg	7000	300
	塩化ニッケル	kg	2000	100
	過酸化水素水	kg	1000	100

来期環境計画への取り組み

- 節水計画（継続）
節水バルブの設置。
節水シャワーの設置を検討。
- ウォームビズの計画（継続）
室温を 19℃～20℃に設定。重ね着、ブラインドを利用し、消費エネルギーを削減。
- クールビズの計画（継続）
室温を 28℃以上で設定。空調管理をこまめに行い、自然の風を上手く使う工夫をする。
- 暖房・冷房器具の検討（継続）
高 COP の製品への変更を検討。
こまめな空調管理を行う。
エアコンのフィルター掃除をこまめに行い、無駄なエネルギーの消費を抑える。
- 白金電極の提案（新規）
地球環境に特化した商品、白金電極の提案を新規案件として、来期の環境計画に取り組む。